

北海道日高高等学校進路だより

千呂露-Tirollo-

北海道日高高等学校
進路指導部
10・11・12月号
2020.12.18

波乱の1年が終わります

新型コロナウイルスに振り回された1年が終わろうとしています。外出自粛や予防対策などで思うようなことができなかった1年だったかと思いますが、おそらく急に元の生活に戻ることはできないでしょう。なので、まだまだ我慢しなきゃいけない日が続くと考えましょう！その方が、精神衛生上良いです。まだまだ戦いは続くと思っていた方が、あとでぬか喜びをしなくて済みます。3密回避、マスク着用、手洗い！

進路活動は終わらない

3年生の10名が進路活動を初めて何ヶ月も経とうとしています。すでに何名もの生徒が自身の進路を決定していますが、10名全員の進路が決定するまでは進路活動は終わりません。それに、決定した生徒は新たな始まりの権利を手にしたに過ぎないので、来年4月（あるいは3月）に向けてやることは山ほどあります。必要なのは緊張感と連帯感と思いやりです。まだ3年生の進路活動（団体戦）は、全員の勝利を勝ち取るまで続きます！



進路活動のためのオリジナル格言②

願書提出期間の初日を、
願書提出締め切り日とせよ。

ふつうは1週間以上の期間で、進学や就職の出願受付があるんですが、結局書き直しや書き間違い、さまざまな訂正が1つや2つではないので、早く出すに越したことはない、ということです。早く届いた方が、相手方の心証も良いですし！（経験者は語る）

お詫び：

進路だよりの発行が遅くなってしまったことをここにお詫びいたします。本来ならば10月始めに発行する予定でした。以下にあります短期連載についてですが、当時の熱そのままに掲載させていただき、来年以降の1・2年生の進路活動に役立ってくれればと思います。

短期連載「進路面接に思うこと」

最終回＜全4回＞ あきらめたらそこで面接終了だよ

3年生の面接練習も本格的に始まり、まだまだ足りないところや到らないところが見つかって、練習しても足りないのではないだろうか。そんなみなさんに私から、ふだんの練習では伝えきれない、アドバイスを3つ贈る。

まず1つ目は、発言はなるべくコンパクトに、だ。相手の面接官はあなたとはほぼ初対面のはずだが、初対面の相手が話している内容を、どれだけ聞いてもらえるだろうか。1分も聞いていたらだんだん飽きてきて、2分を超えると質問自体を忘れかねない。1分アピールはさておき、長くても30秒である。短いと感じるかもしれないが、この文章の1～6行目まで音読すればだいたい30秒である。意外に長い。

2つ目はあいづちだ。あなたは面接官の話を聞いているとき無言でいるつもりだろうか。逆の立場ならどうか。あなたが相手に説明したり質問したりしているときに、相手が無言でただ見つめてきたらどう思うだろう。たとえば「はい」だとか、「そうですね」だとか。ちょっとしたあいづち1つが面接の場でのコミュニケーションを円滑にするし、あなたの答えにもリズムや元気が出るはずだ。

そして最後の3つ目は、必ず面接中は1度は失敗する、だ。約5～30分の面接の中で、入室から退室まで、失敗しない高校生など誰1人としていない。1度どころか、3、4度失敗する人も珍しくない。途中でミスに気づいて「あーもうダメだ」と思ってあきらめてしまったら、とてももったいないのである。ミスはつきものであるし、面接官もそれを見ている。彼らが見ているのはミスした後の行動である。あきらめないで落ち着きを取り戻せるか、また立ち上がって質問にどんどん答えられるか、を彼らは注目する。とにかく何が起るか最後まで分からないのが面接だ。あきらめることなく、最後まで食らいついて、多少のミスは織り込み済みで臨もう。



1月の進路行事

16日（土）大学入学共通テスト1日目（地歴公民・国語・外国語）